

自己紹介と着任のご挨拶

理学電機株式会社 三浦 俊典



理学電機株式会社からやって来ました三浦俊典と申します。

2000年9月からPFのタンパクグループでお手伝いをさせていただいています。

これまで東京の山奥にある理学電機の工場で電気関係の設計を担当していました。工場以外に勤務するのは初めてです。電気的设计といいますが、粉末や低分子単結晶用の特注のゴニオメータなどメカ部と理学汎用コントローラをケーブルでつなぐ、といったことが主で、たまに、ちょっとしたコントローラなどを設計するといったところでしょうか。ロジック回路や板金の設計からマイコンのプログラムなどもやっていました。PF実験ホールの中で自分が設計したものを見つけたときは「こんなところに・・・」とちょっとドキッとしましたが・・・。

正直に書きますと、メカを動かす、という仕事が多かったため、恥ずかしながらX線に関する知識は貧弱なもので、放射光という言葉もたまに耳にする程度のものでした。さらに、タンパクの構造解析を行う装置には携わったことが皆無いため、タンパク質？三大栄養素のひとつか？などとお門違いの発想しか持っておりません。これから徐々に、皆さんの実験のお手伝いをさせていただきながら、勉強していきたいと思えます(と言いましても、皆さんがやられていることを理解できるようになるとは到底思えませんが)。

また、機械工作はできませんが、工場では出来上がった製品の機械を含めた調整作業などをやってきましたので、その程度のことであれば多少なりこちらでもお役に立てるかと思います。

4ヶ月間PFで仕事をしてきて、大勢のユーザさんやスタッフの方にお会いしましたが、装置のトラブルに対しても、皆さん寛大な方ばかりで(内心はそうではないのですが)、正直なところホッとしました。逆に、そういう方々ばかりだからこそトラブルが発生しないよう、よりいっそう努力しなければいけないと痛感しました。やらなければいけないことが山ほどあって、頭の中が混乱してちょっとしたパニックになっている状態ですが、ひとつひとつ整理して、皆さんに納得していただける仕事をしていきたいと思えます。

プライベートのほうはといいますと、かなりの出不精で、寝ているときが一番幸せを感じる時というちょっとだらしない性格でしょうか。現在、猫と二人暮らしをしています。この猫ですがかなりよい血筋で、キャットショーなどに出て、子猫クラスではアジアで24位になりました(ちょっと自慢)。写真をお見せできないのが残念。相当なお嬢様です。PF周辺の野良猫にも性格のよさそうな猫がいるので、連れて帰ってしまおうかとちょっと思っている次第です。

思いつくままに書いてみましたが、皆さん、これからよろしく願いいたします。